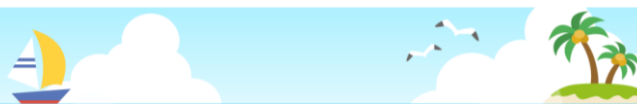


8月の予定表



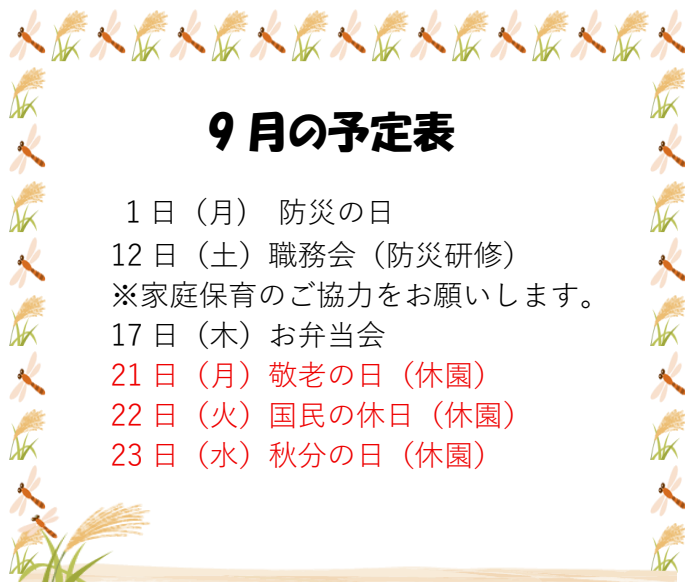
1日(土) おゆうぎ会(AM)
職務会(第1土曜日)
11日(火) 山の日(休園)
20日(木) お弁当会
25日(火) 旧盆(8/25~8/27)

★防火消火避難訓練



9月の予定表

1日(月) 防災の日
12日(土) 職務会(防災研修)
※家庭保育のご協力をお願いします。
17日(木) お弁当会
21日(月) 敬老の日(休園)
22日(火) 国民の休日(休園)
23日(水) 秋分の日(休園)



お知らせ

- ・夏祭り(夕涼み会)の詳細については、後日お知らせいたします。
- ・徴収袋等は、事務所へ直接お渡し下さい。
- ・タブレットの押し間違いにご注意下さい。

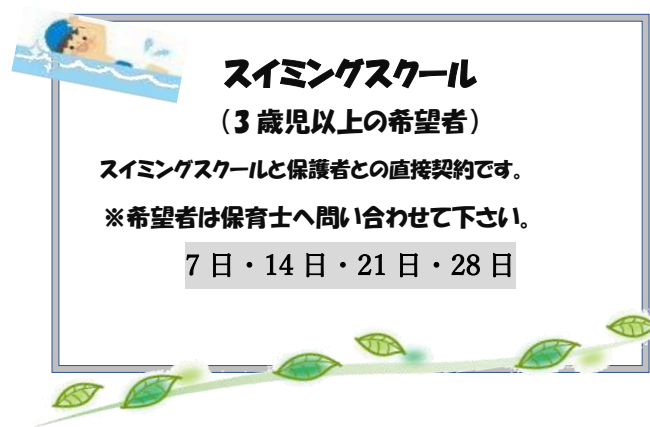
スイミングスクール

(3歳児以上の希望者)

スイミングスクールと保護者との直接契約です。

※希望者は保育士へ問い合わせして下さい。

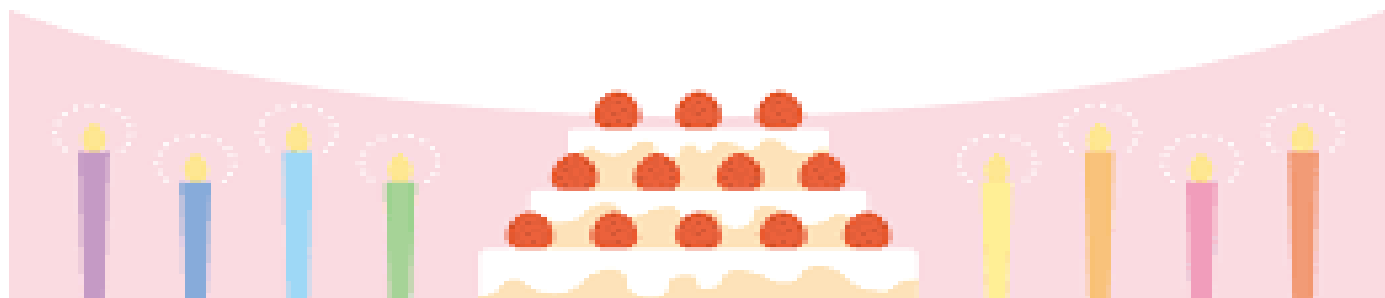
7日・14日・21日・28日



HAPPY
BIRTHDAY



個人情報の為、削除いたします。





知念 みね子

目から感じる「涼」

～昔の人の知恵に学ぶ・風のうたとともに～

厳しい暑さが続いています。近年は温暖化の影響もあり、昔とは比べものにならないほど気温が高くなる日も多く、子どもたちの健康を守るためにはエアコンなど文明の力を上手に活用することが欠かせません。適切な室温管理や水分補給を行いながら、安全を第一に過ごしていきたいと考えています。



一方で、昔の日本では、暑さを和らげるために「五感」を使って涼を感じる工夫が数多くありました。特に「目から感じる涼」は、日本人が大切にしてきた夏の知恵のひとつです。



風に揺れる風鈴や簾（すだれ）、朝顔や青もみじの色合い、金魚が泳ぐ姿や水辺のきらめき、透き通ったガラスの器——どれも、見た瞬間にふっと心に風が通るような、そんな涼しさを届けてくれます。

風がそっと通り抜けるときの音、影が揺れる様子、
光が反射してきらめく瞬間。

昔の人は、こうした自然の「風のうた」を感じながら、
暑い夏を心地よく過ごしていたのだと思います。



青や水色、白などの涼しさを感じる色を身近に取り入れたり、打ち水をして水のきらめきを楽しんだり、自然を身近に感じながら心にも涼を届けていたそうです。
暑さの中にも、そっと寄り添う「涼」の気配を見つける工夫が、暮らしの中に息づいていました。

風が運んでくる「うた」を感じるということ

風は目に見えませんが、確かにそこに存在し、私たちの心にそっと触れてくれるものです。葉っぱを揺らす音、風鈴の澄んだ響き、カーテンがふわりとふくらむ瞬間——それらはすべて、風が奏でる小さな「うた」です。

昔の人は、風の音や揺らぎを通して季節を感じ、心を整えていたのかもしれませんが。 暑さの中でも、風が通り抜ける一瞬の涼しさを見つけることで、心に余白が生まれます。子どもたちもまた、風が存在にとっても敏感です。 風が吹くと「気持ちいいね」と言ったり、葉っぱが揺れるのをじっと見つめたり、風鈴の音に耳を澄ませたり。 大人が見過ごしてしまうような小さな変化を、子どもたちはしっかりと感じ取っています。



子どもの感性は、自然の中で育つ

子どもたちは、大人が気づかないような小さな自然の変化や美しさを感じ取る豊かな感性を持っています。 風が揺らす葉っぱの音、影の形、光の反射、花の色——「きれいだな」「気持ちいいな」「涼しそうだな」と心が動く体験を積み重ねることは、その感性をさらに豊かに育み、季節を感じる心や自然を大切に思う気持ちにつながっていきます。

夏は、自然がもっとも生命力を発揮する季節です。 強い日差し、濃い影、鮮やかな色、勢いよく伸びる草花。 その中で、子どもたちは五感を通して世界を学び、心を育てています。

「風のうた」を感じることは、ただ涼しさを求めるだけではなく、 自然とつながる感性を育てることでもあります。

園で大切にしたいこと

園でも、安全な環境を整えながら、夏ならではの自然や風景、色や音に親しみ、子どもたちが本来持っている豊かな感性を大切に育んでいきたいと思います。

風が通り抜けるときの心地よさ、影が揺れる美しさ、水のきらめき、草花の色——そうした小さな「涼」を子どもたちと一緒に見つけながら、暑い夏の中にも、心がふっと軽くなる瞬間を大切にしていきたいと考えています。

風が運んでくる小さな「うた」を、子どもたちと一緒に感じながら過ごしていきたいと願っています。





ひよこ・うさぎ組 クラスだよ



今月の目標

- 【ひよこ】**
- 体の動きや表情、発声、喃語等を優しく受け止めてもらい、保育者等とのやり取りを楽しむ。
 - 生活や遊びの中で様々なものに触れ、音、形、色、手触りなどに気付き、感覚の働きを豊かにする。
- 【うさぎ】**
- 興味ある絵本を保育者と一緒に見ながら、簡単な言葉の繰り返しや模倣をしたいして遊ぶ。
 - 保育者に見守られて、玩具や身の回りのもので一人遊びを十分に楽しむ。

おねがい

★持ち物には全て名前を書いてください。✍

(お下がりや名前が消えているものがないか確認をお願いします。)

★着替えを多めに準備お願いします。👕

(泥・水遊びをする回数が増えてきます。また、汚れてもいい服装での登園をお願いします。)

★登降園の際には帽子をかぶりましょう。🧢

(帽子をかぶることに慣れる為や熱中症予防対策にもつながりますので帽子をかぶっての登園をお願いします。)

★食材摂取も無理のないよう進めて頂くようお願いします。🐟

(摂取した食材は食材チェック表に記入し、保育士にもお伝えください)

感触あそびって実はとっても重要なんです ✨

今回は「感触あそび」についてご紹介していこうと思います。
子どもは「見る・聞く・触る・嗅ぐ・味わう」ことで五感が働き、
大脳が発達します。
大脳が発達することで思考力、記憶力、コミュニケーション能力等
の多くの力を発達させてくれます。
感触あそびは大脳を発達させるのにピッタリな遊びなのです！

水・泥あそび

つめたくてきもちいい～♪

サラサラしてるところと
ドロドロしてるところがあるな～

あれ？
どろんこながれないな～
どうしてだろう？



砂あそび

なんだろう～
ざらざらしてるな～

ウォーターベッド

ひんやりきもちいい～
ごろごろしてたらしあわせ～
リラックスタイムです😊



小麦粉あそび



お水を入れたら
どうなるかな？



フワフワしてる～
ずっとさわってたいな～♪



足でふみふみ♪
うどん屋さんで～す
足の感触もきもちいいな～



食紅を混ぜたらどう
なるかな～？

いろがついたー！

春雨あそび

ひっぱたら のびるよ～



子ども達は、大好きな麺類みたいな感触で
とっても嬉しそうに触って遊んでいましたよ😊



紹介した感触あそびはこれだけではなく、指先でちぎったり、ぎゅっと丸めたいできる新聞紙あそびや、全身を使って楽しめる絵具あそび、泡あそび等、様々な感触あそびも活動に取り入れていますよ。

暑い時期だからこそ楽しめる感触あそびを保育士も一緒に楽しみたいと思います😊

新しいお友達がふえました♡

たくさんあそぼうね♡

活動の様子

たか〜くできた！！

いただきま〜す！

せみのめけがら
さわれたよ〜

風のうた保育園には毎年
オオゴマダラが卵を産みに帰ってきます。
産まれたアオムシや金色のサナギを
観察することが大好きです♪





かんがるー組クラスだよ

目標

- ★新しい環境に慣れ、決まりがある事や、その大切さに気付く。
- ★生活や遊びの中で友達との言葉のやり取りを楽しむ
- ★夏ならではの遊びを楽しむ。



おねがい

✧ 自分でお支度を行っています ✧

- ・タオル大（1枚）、タオル小（2枚）・お着替入れの袋はリュックの上段にセットして、子ども達が取り出しやすいようにお願いします。
- ・汗をかきやすい時期なのでお着替えを多めに持って来て下さ。
- ・持ち物は、全て名前の記入をお願いします。（名前が消えていないかチェックして下さいね。）



子ども達から「手伝ってほしい」と声があれば、その気持ちを受け止めて「いいよ」と応じます

また、先生が「少し手伝った方がやりやすいかな」と感じた時でも、まずは子どもの様子をそっと見守り、必要そうな時にだけ「手伝ってもいい？」と声をかけるようにしています

子ども



大人



子どもたちが自分に自信を持って色々な事を自主的に取り組めるように自立を促すような援助をしています。その為に保育士は信頼関係を築いた上で、子どもがやる事をじっと見守り、助けが欲しいとシグナルがあった時に手伝うようにしています。この時に「手伝って」と言葉で伝えられるように意識して関わっています

保育士が大切にしている関わり方



☆毎日の積み重ねを経て“できる”ことを獲得していきます。

子どもの“やってみたい”や“自分で(やる)”という気持ちを大切にしながらそのチャンスをいかせるようにしています。

大人がやってあげることは簡単ですが、自分でできることが増えることは、子ども達の自信につながります。その一方でうまくいかない時の「できない・・・」という気持ちや、「あきらめたい」「へこたれる」という感情も、子どもにとって大切な経験です。そうした気持ちを大人が受け止めてもらえることで、子ども達はまた「やってみよう」という気持ちを取り戻していきます。



そして、自分で挑戦して得られた小さな成功体験は、子ども達にとって大きな励みになります。子ども自身から湧き出る思いをきちんと受け止めながら、子ども達の学び(成長)につながる援助をしていきたいと思っています。

スモールステップをたくさん積み重ね、ゆっくりあそびを通して体得できるようにしています



おすすめの本！：こどもはこう育つ



著者

小西行郎 (こにしゆくお) 同志社大学赤ちゃん学研究センター長

小西薫 (こにしかがおる) すくすくクリニックこにし院長

保護者の方から困った時に「どうしよう」と感じる気持ちに寄り添ってもらえました」「とても分かりやすく、共感できました」とのお声を頂きました♡



🐻 らいおん・🌀 くじら・🌈 にじ組クラスだより



まぶしい太陽の日差しと共に夏がやってきました。この時期は、冷たい飲み物や食べ物が欲しくなる時期です。体を冷やしすぎないように適度な汗をかきながら、この夏を乗り切っていきたいですね。お楽しみも多い時期かと思いますが、体の変化に留意しながら過ごしていきたいと思います。

8月の目標

🐻 夏ならではの遊びを楽しむ

🌀 自然に触れる機会を多く経験することで、たくさんの不思議発見を見つける

🌈 水遊びや泥んこ遊び等ダイナミックな遊びを楽しむ



おゆうぎ会の取り組み



虹組さんは今年、初めて朗読劇にくじら組さんと一緒に挑戦します。まずは、以前のお遊戯会で披露された園歌の朗読劇のDVDの映像を見終えると、子ども達は「ぼくは蝶々がいい!」「わたしは“だれかさんがおねむ”が気になる」など、自分の気持ちを自然に言葉にしながら、興味のある役を選んでいきました。役が決まると、子ども達はさっそく「どうやってやるのかな?」と自分たちなりに考え始めます。友だちと話し合ったり、身体を動かして試してみたり、思いついたことをやってみたり——子ども達の中で、表現のイメージが少しずつ育っていきます。

そんな中、以前朗読劇をつくった園長先生との対話の時間もありました。園長先生が語る昔の朗読劇の話や、「風ってどんな感じだったかな?」という問いかけは、子ども達にとって“答え”ではなく、表現を広げるためのひとつのヒントになったようです。子ども達は園長先生の言葉をそのまま真似するのではなく、自分の経験と重ね合わせながら、また新しい動きを試していました。子ども達の「やってみたい」「こうしたい」という気持ちを中心に、表現の世界が少しずつ形になり始めています。

ふわふわ



やさしくうごいてる

からだ全体でひらひら～



そよそよ～



そよそよ → 「擬音語を表現する」

「そよそよ」という風の音を言葉だけで表現するのは、子ども達にとって少し難しいものです。でも、台風の時感じた強い風や、蝶々が飛んでいるときのふわりとした風など、子ども達はこれまでの生活の中で“見て・感じて・体験してきた風”を思い出しながら、自分なりの表現を探していました。

普段の会話の中でも「風がふわりと吹いてるね」「耳をそばだてると何が聞こえるかな？」と、感じたことを言葉にして伝えることで、子ども達の言語感覚は少しずつ豊かになっていきます



子ども達がいつも見ているオオゴマダラの姿を、先生が劇の蝶として再現してみたよ♡



いつも会ってるヤギさんを見ながら、子ども達が“こんな形かな？”と話し合い、劇に出てくるヤギさんの姿をみんなで考えたんだメエ～





おねがい♪～
おねがい♪～食べないで～



みんなが大好きな絵本



普段の遊びの中から、いろいろな演目を披露するおゆうぎ会をどうぞお楽しみに♪
生活の中から湧き出るイマジネーション。子ども達の想像力が、やがて創造力へと
育っていきます——

その一つひとつが、子ども達の“今”を生きる姿そのもの。風のうたらしい、のび
やかであたたかな表現を、どうぞ見守ってください。

～お願い～

- ・お着換えで準備する洋服は袖があるお洋服でお願いします。
- ・帽子・お布団・汚れ物袋・避難靴などの忘れ物が増えています。園にも貸し出しの限りがございますので、確認や補充をしていただきますようご協力
よろしくお願いします。

自然の涼

暑さが厳しくなっている今日この頃。文明の利器のクーラーと上手にお付き合いするのもいいですが、自然の冷たさや涼しさも大事ですね。今回は、様々な涼で涼む子どもたちをご紹介します。

氷漬けにされた恐竜。どうやったら救出できるかな？



先生！水をかけた方が早く溶けるんだよ！触ると冷たいよ！



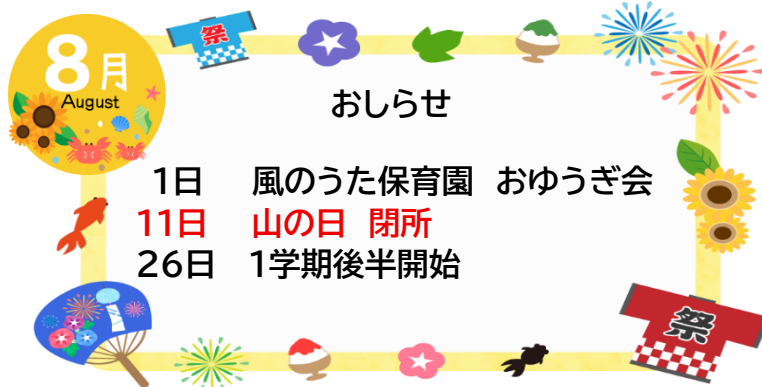
森林浴 ✦ 外は暑いですが
一歩森の中に入るとひんやりとした心地よい風が...



川の水は冷たい～



🌻 風のうた児童クラブたより 🌻



5月の園だよりでご紹介したYさんが育てていたひまわりが
開花いたしました 🌻👀

学校から帰ってきたYさんが
咲いていることに気づき、嬉しそうに教えてくれました。

自分でどの花にするか決め、植えて、育てた花が成長し、
開花したのを見たYさんの目がとても ✨ きらきら ✨ していたのを忘れません。

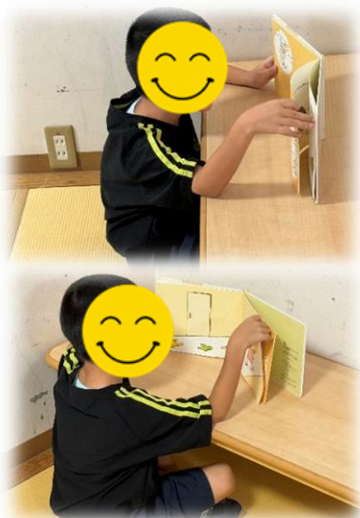
台風にも負けずに咲いてくれたひまわりの花言葉、
『あなたはすばらしい』とてもポジティブな気持ちになれますね。
ぜひ、来所の際にご覧ください 😊



『これわかんない〜 🤔 』と苦戦しながらも宿題を頑張る1年生です♪

お友だち同士『〇〇に何足したら〇〇になるかな?』
などの声が聞こえてきます 🌟

宿題を終えたら自分の好きな遊びを見つけて
お迎えが来るまでの時間を楽しんでいます 😊



『あははは 😄 』と笑い声が聞こえたので振り返ってみると
絵本を読んでいるSさんでした。

自分の好きな絵本を声に出して何度も読み返し、
お気に入りのページで笑う姿が微笑ましいですね 😊

絵本を声に出して読むことによって
自分の耳で聞いているので言葉の理解が深まり、
音読力が育ち、さらに集中力が高まります。

ピタゴラスマグネットとつみ木を組み合わせて、

お家づくりを楽しんでいる子どもたち。

『ここは僕（私）の部屋』・『ここはお風呂』

『玄関はここにする？』・『階段どうする？』など、

友だち同士で声をかけ合いながら、

形や色を工夫して組み立てていく姿が見られました。

完成したお家を嬉しそうに見せてくれる

子どもたちの表情から、創造する楽しさや達成感が

しっかりと感じられました。



保育所保育指針より



子どもの育ちは、乳幼児期から学童期へと途切れることなく続いています。
保育園や幼稚園で育まれた『人と関わる力』『自分で考える力』『感じて表現する力』は、
今の小学生としての学びや生活の土台になっています。
幼児期の経験が今の成長をしっかり支えています。

暑さが続きますが体調に気をつけながら
楽しく過ごしてまいります。





保健だより

2026年 令和8年8月号(第506号)

発行 那覇市こども教育保育課 ☎098-861-2113

猛暑が続いています。こどもたちは、暑さの中でも夢中になって遊ぶので、こまめな水分補給・休息を意識して、熱中症を予防しましょう！



夏の感染症にご注意ください！

夏にこどもがかかりやすい感染症があります。

感染予防の基本は「**手洗い・うがい**」です。

食事の前、トイレの後、オムツ替えの後、帰宅時などのタイミングを意識して、感染症を予防しましょう。



手足口病

症状：口の中、手の平、足の裏などに2-3mmの水ぶくれができる。発熱、のどの痛み。

注意：回復後も鼻汁や便からウイルスが排出されている。

登園のめやす：発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること

ヘルパンギーナ

症状：高熱、のどの痛みの後に、のどに水ぶくれができる。2-4日で自然と解熱するが、のどの痛みが強い場合は水分摂取ができず脱水になることがある。

注意：回復後も鼻汁や便からウイルスが排出されている。

登園のめやす：発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること

咽頭結膜熱（プール熱）

症状：高熱、咽頭痛、目の充血、目やに

注意：おもちゃやドアノブを介した接触、タオルの共用で感染することがある。

登園のめやす：発熱、充血等の主な症状が消失した後2日を経過していること

のどの痛みがある時のホームケアのポイント

□こまめな水分補給

冷たい麦茶、イオン水が飲みやすい。

ゼリー、シャーベットなど水分が多い食べ物を食べさせる。

□冷たくて、のどごしのよい食事

プリン、アイス、うどん、おかゆ、豆腐、バナナなど

味付けは薄味の方が刺激が少ない。

熱いものや炭酸ジュース、酸味のある柑橘類、ビスケットなどの乾いたものは刺激となるので避けましょう。

□室内を適切な湿度に保つ

今の時期は、クーラーや除湿器の使用が欠かせませんが、室内の湿度が下がり、空気が乾燥すると、のどの痛みが強くなることがあります。湿度は50-60%を目安に調整してみてください。



乳幼児健診を受けましょう！

乳児健診・1歳6か月健診・2歳児歯科健診・3歳児健診の対象時期になると案内があります。親子健康手帳アプリ「なはDE子育て」by 母子ももしくは、お電話にて予約をお願いします。

お問い合わせ先 那覇市保健所 地域保健課

☎098-853-7962